



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel&Fax894-0052 <http://www5e.biglobe.ne.jp/~renkyou/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 244 号

2010.01.10

新年のご挨拶

年頭にあたり新年のご挨拶を申し上げます。連協の皆様には今年こそ期待に膨らむお正月をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて今や政権を語らずして「横環南」はありえません。昨年「国民目線での政権」が誕生し、新首相自ら国民の勝利だと語り掛けています。私は昨年10月の連協ニュースで「政府に任せるのではなく自らが一員となって内からチェックする」と約束しました。年末にかけて我々が選んだ議員を端から訪問し、①連協の今までの活動状況、②継続条件である「住民の理解を得ること」を4冊の質問集会記録で確認すること、③15年目の監視委員会が旧態依然の進め方で事業継続としそれに抗議するため行政不服審査請求を国交大臣に提出したこと、そして④結論として横環南は468号線の盲腸線で不要不急の道路であり生活道路の整備こそが急務である、と連協と同じ目線で理解されるよう説明を続けてきました。この要望書(陳情)は民主党幹事長室にも正式に提出されています。

しかし、まるで氷河を動かそうとしている感覚です。全体はゆっくりと規定方針通りに動いており融けるまで相当時間がかかりそうです。だが黙っては何も動きません。「コンクリートより人へ」の掛け声も、我々が支えないとかき消されそうです。横環南はいまだ凍結の対象ではなく、予算化さえされています。しかし3年以内の供用でないことと、不要不急の高速道路との条件を満たしているため、予断は許しません。凍結と確信しています。皆様とともに決して諦めず暑い熱意と行動でこの氷河を溶かして、所期の目的を達成したいと思います。今年は政治主導の一員としてお互いに頑張り抜きましょう。

(会長 比留間)

活動報告

(政権交代に伴い、連協の政党や議員に対するロビー活動が活発化しています。12月度の活動状況を詳細に報告します。事務局)

2009年

- 12/03 前原国交大臣に「11月24日の事業評価監視委員会に関する行政不服審査請求書」を提出(国交省大臣官房室に出向き、直接大臣に渡すこと、写しを馬淵国交副大臣に渡すことの確約を得た)
- 12/03 長島一由議員、川内博史議員(国土交通委員会委員長)、長安豊(たかし)議員(国交大臣政務官)の議員会館事務所を訪問。上記「審査請求書の写し」を渡し善処を要望。なお、川内議員事務所では本人に面会、直接要望。
- 12/06 全体会議開催
- 12/08 朝日新聞津阪直紀記者を訪問、12/3~4凍結道路新聞記事の背景、新政権内部での道路問題取扱状況等の情報交換
- 12/15 かながわ大気汚染・道路公害連絡会
- 12/18 民主党斎藤勁(つよし)議員(比例区)、三村和也議員(神奈川2区、国土交通委員会委員)の横浜事務所を訪問。上記「審査請求書」及び「11月18日付の民主党への陳情書」他を説明、運動への理解と善処を要望(秘書対応)
- 12/20 拡大三役会議、事務局会議開催
- 12/24 三村和也議員と面談。審査請求問題の国土交通委員会での質問の要請、及び「民主党への陳情書」における「横環南線の計画凍結要求」に関わる経緯・現況・問題点等を説明、支援を要請。
- 12/24 民主党神奈川県総支部連合会を訪問。審査請求に関連した、党本部小沢幹事長への「質問とお願い」要請書の直接FAXを依頼。県連からは、「通常でのFAXと要請書(正)は当方からの郵送」での受諾。
- 12/25 民主党本部小沢幹事長宛に「質問とお願い」要請書を郵送。

優しいトラでも、
怒らせると怖いぞー。



民主党への陳情書概要

(21/11/18 提出)

○表題：横浜環状南線高速横浜環状南線の 計画凍結要求（陳情）

【主文】 高速横浜環状南線の建設計画の白紙撤回を含む抜本的見直しを求める。高度成長期の遺物であるこの計画は、現在に至る社会環境の変化によりその必要性はなくなった。

沿線住民は生活道路として一般道である横浜環状3号線、4号線の整備が急務であり、これにより環状道路の目的は達成できると考える。4,300億円は現在の最優先課題に振り向けられるべきであり、**本線工事が未着手である不要不急の計画は凍結すべき**と要求する。

【問題点】（要旨のみ。詳細は連協 HP 参照）

- ①計画ルート選定に問題あり。
- ②現状のより良い環境の破壊。
- ③建設費・事業効果について。

- ・建設費用 4,300億円は過小見積もり
- ・経済性評価 費用対便益(B/C)1.7に対する具体的説明なし。B/Cは1.0以下になるとの試算あり

【計画のうそ問題】

宅地造成後、横浜市と開発業者は「この用地は都市計画道路(幹線道路)予定地です」との看板を掲げ一般街路用と称し宅地販売を行った。行政・業者による共同詐欺行為であり住民の怒りは収まらない

【提言】

横浜市南部は環状3号線、4号線が生活上の幹線道路であり横環南の建設に代わり全線4車線にすることを提言する。 (事務局)



ずっと気持ち良く
眠っていたいね！

民主党&鳩山政権は 国民を裏切らないで！！

「民主党にも道路族議員はいる」

この言葉は、昨年3月の首都圏道路連絡会と民主党馬淵澄夫議員(現国交副大臣)との懇談会で、「政権交代こそが道路問題解決への切り口」とのエールに対しての馬淵議員からの「大きな問題点もある」としての発言であった。

その後、民主党は政権交代を果たし 国民の期待を担った。

私どもは、今こそ政権の支持・支援者としての立場のもと、国会・県会・市会議員に横環南線の問題とあり方について問題提起するとともに、11月18日付けで民主党本部へ「横浜環状南線の計画凍結要求」とする陳情を行った。

民主党への陳情

民主党幹事長は全国から2,000の陳情を受けつけ、取り纏めたものとして22年度予算策定に関する陳情として鳩山政権に要請した。

この中には、**ガソリン等暫定税率の維持、高速道路の促進**ほか、総選挙の際にあれほど候補者が力説して訴えた財政健全化に逆行するようなものなど、マニフェストからかけ離れたものが含まれている。

道路問題に関しては、当然、従来ベースの促進陳情も含まれていることは推察できるが、**選択結果は、皮肉にも冒頭の言葉を裏付けたものに写ってしまう。**

鳩山政権への期待

国民目線での政治を掲げる鳩山政権、目線が外れることの無き様、一つ一つの政策に、私ども国民の声を届かせなければならないことを痛感する。 (事務局 長谷川)

訂正とお詫び

243号記事、前原国交大臣の名前を、「前川」と誤植しました。お詫びして訂正します。